

令和 2 年度の事業報告書

令和 2 年 5 月 1 日から令和 3 年 4 月 30 日まで

NPO 法人地域の宝育成支援センター

1 事業の成果

▶こども屋台選手権

<目的>

過去 7 回のこども屋台選手権に参加した子どもたちの意見を集約し、これからのこども屋台選手権の在り方を考える機会とする。

さらに、ホームページへの掲載やパンフレットを作成し、来年度のこども屋台選手権がより充実したものになるための取り組みを行う。

<成果>

過去 7 回のこども屋台選手権に参加した子どもたちから、「働くことは楽しい」「物を売ることや商品を新しく開発する難しさが実感でき、将来に活かせる貴重な体験ができた」「自分たちの作った料理にたくさんの方が並んで買ってくれて“おいしい”などの言葉をきけてうれしかった」などの声が寄せられ、こども屋台運営に携わることにより、働くことの喜びや達成感を体験し、働くことの意味や意義を考える貴重な機会になっていることを再確認できた。

また、「国東の特産品を使ってとてもおいしいメニューが作れて楽しかった」「仲間と協力しあうことの難しさや楽しさも感じる事ができた」などの声も聞かれ、こども屋台を経験することが、自分たちの故郷「おおいた」に誇りと愛着を持ち、地域愛や責任感、協力する心を育むことができていることが分かった。

このことは、本事業の目指すところであり、今後事業を進めていくうえで大きな自信となった。「今年、中止になって残念」「こども屋台選手権を経験して多くのことを学ぶことができ、来年も屋台を出したいと思った」など、来年度こども屋台選手権開催を望む多くの声をいただいた。また、集約したものをホームページに掲載し広く周知したことで、市民の皆さんのこども屋台への理解と支援を得ることができた。

▶学びの杜

<目的>

何らかの理由で学校の中で困難を感じている子どもたちに、経済的負担をかけることなく、学習機会を提供し、社会とつながり、自分の「居場所」を再発見してもらおうとともに、「学ぶことの楽しさ」を知り、「社会を生き抜く力」を身につけ、「将来への夢・希望」を持たせることを目的とした教育事業。

<成果>

子どもたちに継続的に学力支援を行うことで、学習意欲の向上・学習習慣の確立・基礎学力の定着を図るとともに、本事業の目的である学ぶことの「大切さ」や「楽しさ」を教えることができた。

また、子どもたちにとって、学校とは異なる社会とのつながりができることは、自分の「居場所」を見つけ、視野を広げることに役立った。

卒塾生から高校生対象の学びの杜を開校してほしいとの希望が多かったため、今年度から新たに学びの杜「高校生」を開校した。現在、卒塾生を中心に大分県内の高校生 12 人が参加。自らが課題を持ち寄り、わからないところは講師の先生に質問しながら学んでいる。

キャリア教育授業「金の糸」は自分のこれまでを振り返りながら、「自分らしさ」を見つけ、未来のキャリアへとつなげることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
文化、芸術を通じて、子どもの健全育成およびまちづくりの推進に関する事業	<p>こども屋台選手権</p> <p>過去7回のこども屋台選手権に参加した子どもたちの意見を集約し、これからのこども屋台選手権の在り方を考える機会とする。さらに、ホームページへの掲載やパンフレットを作成し、来年度のこども屋台選手権がより充実したものになるための取り組みを行う。</p>	<p>1 1月 アンケート配布 21屋台 210人</p> <p>1 2月 アンケートの回収</p> <p>1 月 編集会議 アンケートの集約 パンフレットの作成 ホームページの作成</p> <p>2 月 関係者へパンフレット発送 ホームページ掲載</p> <p>250人</p>	<p>一般 267人</p>	<p>619</p>
教育現場の支援を通じて、子どもの健全育成に関する事業	<p>寺子屋事業 「学びの杜」</p> <p>大分県内の学校長経験者等が中心となり、中学生・高校生に「学ぶことの楽しさ」と「将来への夢」を教える教育事業</p>	<p><中学生> 毎週日曜日 14:00～16:00 ・大分トキハタクシー会議室 授業数 41回 46人 ・平倉建設会議室 授業数 34回 47人</p> <p><高校生> 毎週土曜日 19:00～21:00 ・大分トキハタクシー会議室 授業数 44回 91人</p>	<p>中学生 ・1年2年 307人 ・3年 356人</p> <p>高校生 333人</p>	<p>1,230</p>
各 NPO 団体の運営又は活動に、助言・援助する事業	<p>実施しなかった</p>			

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(活動計算書)」)

令和2年度 活動計算書

令和2年5月1日から令和3年4月30日まで

NPO法人 地域の宝育成支援センター

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	130,000	
2 受取寄附金		
受取寄附金	629,000	
3 受取助成金		
公共機関受取補助金	3,428,752	
民間受取助成金		
4 事業収益		
物品販売	980	4,188,732
2 その他収益		
その他収入		
受取利息	47	47
経常収益計		4,188,779
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
材料仕入高	0	
広告宣伝費	908,310	
需用費	59,893	
消耗品費	71,782	
教材費	46,247	
通信費	20,111	
保険料	0	
旅費交通費	429,000	
会場費	0	
賃借料	246,600	
合宿費用	0	
雑費	67,346	
その他経費計	1,849,289	
事業費計		1,849,289
2 管理費		
(1) 人件費	303,744	
人件費計	303,744	
(2) その他経費		
地代家賃	120,000	
水道光熱費	36,000	
会議費	205,868	
支払利息	3,916	
その他経費計	365,784	
管理費計		669,528
経常費用計		2,518,817
当期経常増減額		1,669,962
III 経常外収益		
1 創業費		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
創業費償却		0
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		1,669,962
法人税、住民税及び事業税		71,006
当期正味財産増減額		1,598,956
前期繰越正味財産額		1,910,290
次期繰越正味財産額		3,509,246

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」)

令和2年度 貸借対照表
令和3年4月30日現在

NPO法人 地域の宝育成支援センター
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,636,246		
流動資産合計		5,636,246	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,636,246
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	396,000		
預り金	60,000		
法人税	71,000		
流動負債合計		527,000	
2. 固定負債			
長期借入金	1,600,000		
固定負債合計		1,600,000	
負債合計			2,127,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,910,290	
当期正味財産増減額		1,598,956	
正味財産合計			3,509,246
負債及び正味財産合計			5,636,246

(法第28条第1項「前事業年度の財産目録」)

令和2年度 財産目録
令和3年4月30日現在

NPO法人 地域の宝育成支援センター
(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	40,924		
豊和銀行普通預金	7,831		
大分銀行普通預金	5,587,491		
流動資産合計		5,636,246	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,636,246
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	396,000		
預り金	60,000		
法人税等	71,000		
流動負債合計		527,000	
2. 固定負債			
長期借入金	1,600,000		
固定負債合計		1,600,000	
負債合計			2,127,000
正味財産			3,509,246